




世 界 史 B 問 題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 16 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。
10. 問題用紙は必ず持ち帰ること。
11. 試験時間は 60 分である。
12. マークシート記入例

良い例	悪い例
	  

〔 I 〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

かつて、ローマ人たちは地中海を取り巻く大帝国を築いた。しかし、彼らが活躍し、ヨーロッパ文明の礎が築かれた古代の地中海世界は、決して閉じられたものではなく、交易を通じてインド洋の諸地域ともつながっていた。^(a) 1世紀頃、メコン川下流には扶南が建てられたが、その港市ではローマ貨幣が発見されている。^(b) 『後漢書』によれば、166年には、アの使者が日南郡に到達しており、これも東西世界が海路により結ばれていたことを示しているだろう。さらに、インドではユスティニアヌス大帝期をはじめとするビザンツ初期の貨幣が出土しており、^(c) 古代末期にも、ヨーロッパ世界とアジア世界は海を通じて結ばれていたことがわかる。

7世紀の西アジアでイスラームが勃興すると、事情は変化する。地中海地域とインド洋海域世界はムスリム商人により媒介され続けるものの、ヨーロッパと東方世界は直接的な繋がりを失ってゆく。そして、イスラーム勢力が北アフリカからイベリア半島の大部分までを制圧すると、^(d) 地中海岸の多くの地域でもムスリムが優勢となる。なお、その交易網は、8世紀には、地中海沿岸部のみならず、サハラ砂漠南縁に位置する金の産地 イ にまで達するほどの広がりを見せていた。

イタリア諸都市が成長し、十字軍が開始される11世紀以降になると、地中海沿岸部を中心にヨーロッパの諸勢力もようやく巻き返しを図り、13世紀後半にはジェノヴァ人がジブラルタル海峡をムスリムの手から解放するに至る。それまで、イタリア商人たちは、もっぱら陸路でヨーロッパの内陸部まで商品を運び、^(e) 商業に従事していた。しかしこれ以後、彼らはジブラルタル海峡と大西洋を經由してロンドンやブリュージュに至り、北方の商業都市で活発な活動を展開するようになるのである。

ところで、ロンドンやブリュージュでイタリア商人たちが向き合ったのは、ハンザ商人が支配的な地位を占めた北海・バルト海の交易圏である。もともとこれらの海域ではノルマン人が略奪や交易に従事していたが、^(f) 彼らの活動によって、^(g)

北の海は、ドニエプル水系を通じて黒海にまで至る交易圏の一部をなしていた。
ノルマン人の動きが落ち着いた後、ハンザ商人もロシアにまで及ぶ広範な交易圏を築き上げ、北海・バルト海を通じてロシアや東欧で産出される木材や穀物、毛皮などを北西ヨーロッパの諸都市へと運び込んだ。リューベックを盟主として14世紀に最盛期を迎えるハンザ同盟は、その交易活動の維持のために軍事力を行使することすらあり、一時はデンマークを破るなど、北ヨーロッパの海の覇者^(h)となった。ただし、大西洋航路⁽ⁱ⁾やインド航路がヨーロッパ経済の発展を左右するようになると、北方の海域自体の経済的重要性は相対的に減少してゆく。オランダやイギリス^(j)など北の海に面する国々は、新航路の先に存在する海外植民地の獲得により近代への道を切り開いていったのである。

問 1 下線部(a)に関連して、1世紀頃エジプトの無名ギリシア人により記された、紅海やインド洋に関する地理書の名前は何か。

問 2 同じく下線部(a)に関連して、紅海からインド洋へ通じる交易路によって経済的に繁栄し、4世紀にはキリスト教を受容した東部アフリカの王国の名前は何か。

問 3 下線部(b)の港市はどこか。

問 4 下線部(c)の皇帝が滅ぼした、北アフリカのゲルマン人の王国の名前は何か。

問 5 下線部(d)に関連して、8世紀にイベリア半島で成立したイスラーム王朝は何か。

問 6 下線部(e)に関連して、12・13世紀に定期市で栄えた北フランスの地方はどこか。

問 7 下線部(f)に関連して、9世紀末にノルマン人を撃退したアングロ＝サクソンの国王は誰か。

問 8 下線部(g)に関連して、リューリクの後継者によって建てられ、13世紀にモンゴルにより滅ぼされる国の名前は何か。

問 9 下線部(h)に関連して、デンマークを主導に、スウェーデン、ノルウェーの間で1397年に結ばれた同盟は何か。

問10 下線部(i)に関連して、1493年に教皇が定めたスペインとポルトガルの植民地分割線は翌年改められたが、その際の条約の名前は何か。

問11 下線部(j)に関連して、スペイン船への私掠を行いつつ、世界周航を成し遂げたイギリスの航海者は誰か。

問12 空欄(ケ)に入るローマ皇帝の中国名は何か。

問13 空欄(イ)に入る王国の名前は何か。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

中国の歴史は、黄河や長江を有する農耕世界の人々と、その北方の遊牧世界の人々との対立と融合の歴史とも捉えることができる。秦漢時代の匈奴をはじめとして、騎馬遊牧民は絶えず農耕民に圧力を加えた。さらには、農耕世界を支配する勢力も現れた。

4～5世紀の中国では、「五胡十六国」と呼ばれる分裂状態の中から鮮卑が建てた北魏が台頭し、華北統一を実現する。北魏ははじめ遊牧民の部族制に由来する体制と、皇帝を頂点とする中国の体制を併用したが、第6代の の時代になると国制や習俗の漢化を推進した。しかしこれは自民族の反発を招き、結果的に北魏は瓦解する。

10世紀には契丹族の遼、12世紀には女真族の金がそれぞれ華北地域に勢力を伸ばす。遼と金はいずれも遊牧民に対しては部族制によって統治し、農耕民に対しては中国式の制度を導入して統治する二重統治体制をとった。またともに独自の文字を制定するなどして自らの民族意識を高めたが、中国文化の受容にも積極的であった。

13世紀、モンゴル族は強力な騎馬軍団を組織して各地に遠征し、ユーラシアの東西にまたがるモンゴル帝国を築いた。第5代の は東方に重心を移して国号を元と称し、江南に拠る南宋を滅ぼして中国全土を統一した。元は中国の統治制度を採用したが、支配層であるモンゴル人が要職を占めた。一方で、モンゴル人以外の人々も能力に応じて任用された。

17世紀には、満州族の清が明に代わって中国全土を支配下に収めた。清は明の諸制度を踏襲して儒教理念に基づく統治をしき、科挙を実施して漢族知識人を大いに登用した。またその一環として図書編纂事業を盛んに行った。ただし、北方民族王朝としての特徴も随所にみられた。

以上のように、歴代の北方遊牧民族は様々なやり方で支配する中、伝統的な中国の制度や文化の影響を受け、あるいは中国社会に同化していくものもいた。そして農耕民もまた、遊牧民族の影響を受けて多様化していったのである。

問 1 下線部(a)に関連して、秦漢と匈奴の関係に関する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 秦は、長城を修築して匈奴侵入に備えた。
- B. 前漢は、冒頓単于率いる匈奴に敗れた。
- C. 前漢は、匈奴分裂後に南匈奴を服属させた。
- D. 後漢は、北匈奴を破り西域を平定した。

問 2 下線部(b)に関連して、この時期に流行した仏教に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 仏図澄は、洛陽で仏典を漢訳した。
- B. 鳩摩羅什は、『仏国記』を著した。
- C. 法顕は、仏典を求めてグプタ朝に至った。
- D. 北魏は、平城近郊に龍門石窟を造営した。

問 3 下線部(c)に関連して、北魏が華北を統一した年に江南に存在していた王朝として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 東晋
- B. 宋
- C. 齊
- D. 梁

問 4 下線部(d)に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

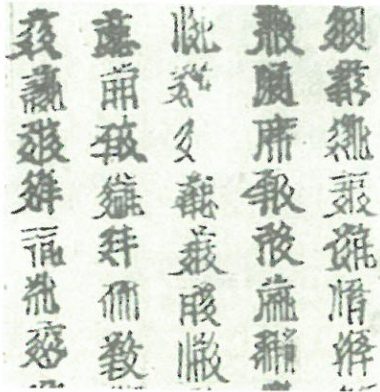
- A. 元来モンゴル高原西部を本拠地としていた。
- B. 開祖の完顔阿骨打の時に遼を滅ぼした。
- C. 靖難の変によって北宋を滅ぼした。
- D. 南宋と和議を結んで臣下の礼をとらせた。

問 5 下線部(e)に関連して、遼が遊牧・狩猟民統治のために採用した制度として、最も適切なものを一つ選びなさい。

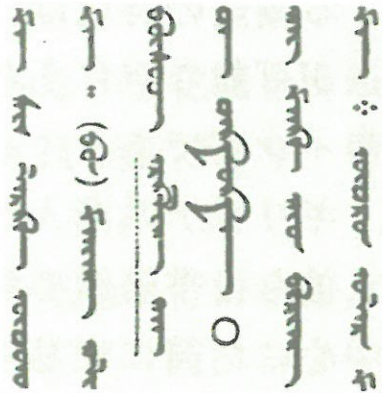
- A. 北面官
- B. 骨品制
- C. 千戸制
- D. 猛安・謀克

問 6 下線部(f)に関連して、遼や金と同時代に中国西北部に存在した西夏によって制定された文字として、最も適切なものを一つ選びなさい。

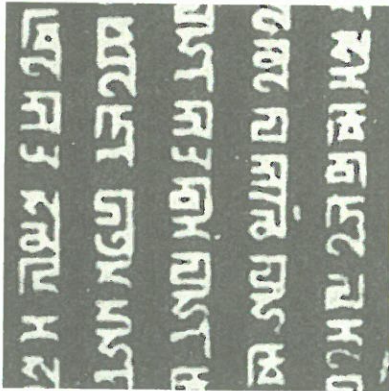
A.



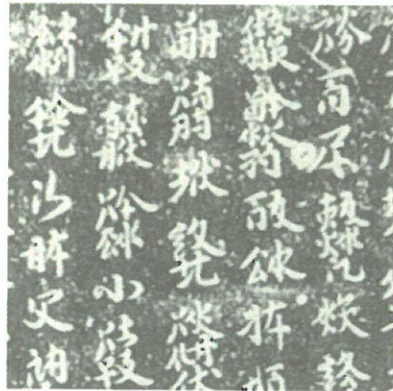
B.



C.



D.



問 7 下線部(g)に関する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. チンギス=ハンは、金を滅ぼした。
- B. チャガタイは、首都カラコルムを建設した。
- C. フラグは、アッパース朝を滅ぼした。
- D. ハイドゥは、キプチャク=ハン国を建てた。

問 8 下線部(h)に関する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 現在の杭州市に当たる臨安を首都とした。
- B. 対金政策で和平派の秦檜と主戦派の岳飛が対立した。
- C. 「蘇湖(江浙)熟すれば天下足る」と言われた。
- D. 貨幣経済が発展して交鈔という紙幣が使用された。

問 9 下線部(i)に関連して、元では旧金支配下の遺民は何と呼ばれたか。最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 南人
- B. 漢人
- C. 色目人
- D. 華人

問10 下線部(j)に関連して、清の勢力範囲に関する出来事を古い順に並べたものとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

- (あ) ネルチンスク条約締結
 - (い) キャフタ条約締結
 - (う) 鄭氏台湾降伏
 - (え) ジュンガル征服
- A. (あ)→(う)→(え)→(い)
 - B. (あ)→(え)→(う)→(い)
 - C. (う)→(あ)→(い)→(え)
 - D. (う)→(い)→(あ)→(え)

問11 下線部(k)に関連して、18世紀後半に完成した図書として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. 『四庫全書』
- B. 『康熙字典』
- C. 『永楽大典』
- D. 『古今図書集成』

問12 下線部(l)に関する説明として、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 中央官庁において満漢併用制をとった。
- B. 満州族の習俗である辮髪・纏足を強制した。
- C. 文字の獄や禁書により言論弾圧を行った。
- D. 満州族の社会制度に基づく八旗を編制した。

問13 空欄(ア), (イ)に入る語句として, 正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- | | |
|------------|-------------|
| A. (ア) 太武帝 | (イ) フビライ=ハン |
| B. (ア) 孝文帝 | (イ) モンケ=ハン |
| C. (ア) 太武帝 | (イ) モンケ=ハン |
| D. (ア) 孝文帝 | (イ) フビライ=ハン |

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

人が何かを学びたいという欲求は、各時代に広範囲の移動を促した。日本から中国に派遣された遣唐使の中には、玄宗に重用されたが、暴風雨に遭遇し、帰国できずに で客死した阿倍仲麻呂のような留学生もいた。

7世紀、唐僧の玄奘は、仏教の原典を求めて陸路インドに赴き、ナーランダー 僧院で学び、各地を歴訪後、帰国した。旅の記録は玄奘が口述し、弟子が編纂した『 』にまとめられた。同じ7世紀に海路で、同僧院へ赴き、帰国した義浄は、旅行記『 』を記した。

7世紀に誕生したイスラーム教の社会においても、宗教と学問とは密接な関係にあった。アッバース朝最盛期の都、 には、ギリシア語の文献を集めてアラビア語へ翻訳する機関 が設置され、ギリシア語による諸学問と、インドやイランの諸学問とが融合し、発展した。このように発展した諸学がヨーロッパへ伝えられ、「12世紀ルネサンス」を生み出した。たとえば、紀元前300年ごろ に、ギリシアの数学者エウクレイデス によって記された幾何学のテキストは、アラビア語写本からラテン語に翻訳されるまで、ヨーロッパでは忘れられていたという。

イスラーム諸都市では、10世紀以降、マドラサ(学院)が建設され始め、14世紀にはイスラーム世界全域にひろがった。教授法の基本は、口伝であり、どのマドラサで学んだかとともに、どの教師の教えを受けたかということが重要な意味をもった。モロッコ出身のイブン=バットゥータは1325年、21歳の時、 巡礼と学問探究の旅に出発した。彼が訪問した都市は、ビザンツ帝国の都コンスタンティノーブル、ヴァスコ=ダ=ガマも喜望峰経由で1498年に到達することになる ，さらには大都などにおよび、その遍歴が口述筆記され、のちに『大旅行記(三大陸周遊記)』として編まれた。

このような長距離移動の旅が可能となったのは、13世紀に、ユーラシア規模で一体化した陸上交易圏と、東アジア・東南アジア・西アジア・東アフリカ を結ぶ海上の交易圏とが接合されたことによる。洋の東西を問わず、人は学問を究めるために、遠方の師を訪ねたり、貴重なテキストを求めて、長い時間と労力を費

やしたのであった。

問 1 下線部(a)の時代に創設され、宋の徽宗のもとで多くの画家を輩出した絵画の制作・教育機関の名を答えなさい。

問 2 下線部(b)で玄奘を厚遇した王の名を答えなさい。

問 3 下線部(c)の機関について、最も適切なものを一つ選びなさい。

A. アズハル学院

B. ニザーミーヤ学院

C. 知恵の館

D. ムセイオン

問 4 下線部(d)の拠点の一つとして、キリスト教、イスラーム教およびビザンツ諸文化の融合の地となった地中海上の島の名を答えなさい。

問 5 下線部(e)を、マテオ=リッチと共に『幾何原本』という題で漢訳した明の官僚は誰か、最も適切な人物を一人選びなさい。

A. 徐光啓

B. 李時珍

C. 李贄

D. 宋応星

問 6 下線部(f)に関連して、モンバサとならぶ古くからのインド洋貿易の重要拠点で、現タンザニア沖合にうかぶ島の名を答えなさい。

問 7 空欄(ア)～(エ)に最も適切な都市名を記入し、その都市の地図上の位置を記号で答えなさい。



* 地図上の点線は現在の国境線を示している。

問 8 空欄①～②に最も適切な書名を答えなさい。

〔Ⅳ〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

19世紀後半、ヨーロッパやアメリカ合衆国で進展した第二次産業革命は、巨大産業を発展させると同時に、原料供給地かつ製品市場としての植民地獲得競争^(a)を列強間に生じさせた。帝国主義の時代である。この結果アジアとアフリカの大部分が欧米列強の植民地となり、同地域における民族主義と独立運動^(b)は20世紀における大きな課題の一つとなった。植民地獲得競争を通じて列強は、大きく2つの陣営に分かれることとなり、直接的には、ボスニアのサラエヴォで起きたオーストリア帝位継承者夫妻暗殺事件を契機として、同盟国側と協商国側の間に第一次世界大戦が勃発した。

^(c) 大戦は協商国側の勝利に終わり、1919年1月にパリ講和会議が開かれた。アメリカのウィルソン大統領は、1918年に14カ条の原則^(d)を提唱し、講和会議をリードすると思われた。しかし、同じく戦勝国であるフランスやイギリスの思惑もあり、14カ条の原則は部分的にしか実現しなかった。対ドイツの講和条約^(e)であるヴェルサイユ条約は、巨額の賠償金を課すなどドイツに対してきわめて過酷であった。

第一次世界大戦後、西洋諸国の国内事情とそれらを取り巻く国際関係は大きく変容^(f)した。その中で台頭したのがアメリカである。戦争による被害をほとんど受けなかったアメリカは、「黄金の20年代」と呼ばれる繁栄の時代を享受した。アメリカは1920年代の国際関係においても中心的な役割を担った。アメリカは国際連盟には参加しなかったものの、ア 大統領がワシントン会議の開催を提唱し、アジア太平洋地域においてワシントン体制と呼ばれる国際秩序を成立させた。1928年には米仏外相の主導で不戦条約が締結され、戦争そのものが違法とされた。さらにドーズ案やヤング案によって、アメリカはドイツの賠償金支払いの軽減にも大きな役割を果たした。

1929年10月にニューヨーク株式市場での株価暴落をきっかけとして起きた世界大恐慌は、20年代の国際協調の機運を一変させた。各国は国内問題の対応に追われ、国際問題の関与に消極的になった。そのような状況に乗じて、ヨーロッパとアジアではファシズムや軍国主義が台頭し、軍備拡張や領土拡大の道を進ん

だ。ヨーロッパでは、イタリアが1935年にエチオピア侵略を開始したが、国際連盟の対応は十分ではなく、その威信を失墜させた。1937年にスペインでは内戦が勃発し、フランコ将軍率いる反乱軍が勝利し、独裁体制を築いた。^(h) イタリアやドイツが反乱軍を支援する一方で、イギリスやフランス、アメリカはそれぞれ不干渉の立場をとった。

ドイツではヒトラー率いるナチ党が政権を掌握し、ヴェルサイユ体制への挑戦を始めた。再軍備宣言やラインラント進駐を経た後、ドイツは1938年9月にチェコスロヴァキアの の割譲を要求した。それに対して、イギリスとフランスはミュンヘン会談においてドイツの要求を認めるという宥和政策をとった。⁽ⁱ⁾ しかし、ヒトラーはミュンヘンでの合意を破棄、チェコスロヴァキアを解体・保護国化し、さらにポーランドに対しても領土を要求したが、ポーランドはこれを拒否した。ドイツは1939年8月にソ連と不可侵条約を結ぶと、翌9月にポーランドに侵攻した。同時にソ連も侵攻を開始し、ポーランドは再び分割支配されることになった。^(j) イギリスとフランスはドイツに宣戦布告し、ここに第二次世界大戦が勃発した。

問 1 下線部(a)に関連して、誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. イギリスとフランスは、1898年にファショダ事件を起こした。
- B. ドイツは、二度にわたってモロッコ事件を引き起こした。
- C. アフリカでは、エチオピアのみが独立を保った。
- D. イギリスは、エジプトを1914年に正式に保護国化した。

問 2 下線部(b)に関連する説明として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. コンゴ独立直後勃発した内乱に、旧宗主国のベルギーが介入した。
- B. ベトナムは、ジュネーヴ休戦協定によって独立を達成した。
- C. インドネシアでは、タキン党が独立運動を主導した。
- D. 民族対立の結果、パキスタンが英領インドから分離独立した。

問 3 下線部(c)について、大戦中の出来事を古い順に並べたものとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

- (あ) アメリカが、協商国側にたって参戦した。
 - (い) ソヴィエト政権が、ドイツと単独講和を結んだ。
 - (う) ドイツが、無制限潜水艦作戦を開始した。
 - (え) 仏英軍が、マルヌの戦いでドイツ軍の侵攻を食い止めた。
- A. (え)→(う)→(あ)→(い) B. (う)→(え)→(い)→(あ)
C. (え)→(い)→(う)→(あ) D. (う)→(あ)→(え)→(い)

問 4 下線部(d)の内容として誤っているものを一つ選びなさい。

- A. 秘密外交の禁止 B. 海洋の自由
- C. 無併合・無賠償 D. 国際平和機構の設置

問 5 下線部(e)に関連して、第一次世界大戦の講和条約はドイツ以外の敗戦諸国とも締結されたが、その組み合わせとして誤っているものを一つ選びなさい。

- A. オーストリアーサン＝ジェルマン条約
- B. ハンガリーートリアノン条約
- C. ブルガリアーヌイイ条約
- D. オスマン帝国ーローザンヌ条約

問 6 空欄(ア)に入る最も適切な人物を一人選びなさい。

- A. タフト B. フーヴァー
- C. ハーディング D. クーリッジ

問 7 下線部(f)に関連して、1920年代の西欧諸国の動向として最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. ドイツは、ロカルノ条約調印の翌年に国際連盟に加盟した。
- B. アイルランドは、イギリス連邦を離脱した。
- C. イタリアのファシスト党は、赤シャツ隊を組織した。
- D. フランスは、ザール地方の占領を実施した。

問 8 下線部(g)に関連して、1920年代のアメリカについて誤りを含むものを一つ選びなさい。

- A. 1924年に成立した移民法は、アメリカへの移民を制限した。
- B. 1920年に女性参政権が成立した。
- C. ラジオや冷蔵庫などの家電製品が、広く普及した。
- D. 民主党は、三度の大統領選挙においてすべて勝利した。

問 9 下線部(h)に関連して、同内戦に義勇兵として参戦し、その経験をもとに『カタロニア讃歌』を著した作家を一人選びなさい。

- A. トーマス＝マン
- B. オーウェル
- C. ヘミングウェイ
- D. マルロー

問10 空欄(i)に入る最も適切な地名を一つ選びなさい。

- A. ダンツィヒ
- B. ズデーテン
- C. シュレジエン
- D. ベーメン(ボヘミア)

問11 下線部(i)に関連して、ミュンヘン会談に出席したイギリス首相とフランス首相の組み合わせとして、最も適切なものを一つ選びなさい。

- A. ネヴィル＝チェンバレンとエドゥアール＝ダラディエ
- B. ネヴィル＝チェンバレンとレオン＝ブルム
- C. ジョゼフ＝チェンバレンとエドゥアール＝ダラディエ
- D. ジョゼフ＝チェンバレンとレオン＝ブルム

問12 下線部(j)に関連して、ポーランドの国土に関する歴史の説明として誤りを
含むものを一つ選びなさい。

- A. ポーランド王国は14世紀にリトアニアと合同し、ヤゲウォ(ヤゲロー)朝を創始した。
- B. ポーランドは、18世紀にロシア、プロイセン、オーストリアによって分割された。
- C. ナポレオン3世が、19世紀にワルシャワ大公国を成立させた。
- D. ポーランドは第一次世界大戦後、ソヴィエト=ポーランド戦争によって領土を拡大させた。